

令和4年度大阪府がん対策推進委員会第1回小児・AYA世代のがん対策部会（概要）

1. 日 時：令和5年2月13日（月）15時00分～16時15分

2. 場 所：エル・おおさか南館7階 南734及びWEB開催

3. 議 事：

- (1) 第3期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について
- (2) 大阪府がん患者等妊よう性温存治療費等助成事業について
- (3) その他

4. 委員からの意見要旨

(1) 第3期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

【意見要旨】

○データが若干古い、15歳以上の生存率で2%程度とは言え、改善がみられる。

○長期フォローアップについて

- ・府内小児がんサバイバーのうち、1.4%が30年以内に二次がん罹患しており、小児がんサバイバーが二次がん罹患するリスクは、一般人口におけるがん罹患リスクより5倍高い。
- ・ガイドラインで推奨されている範囲の検診の費用負担については、世代的な経済的負担や病院ごとの費用負担の違いからなる不均衡を是正するためにも、行政から費用を助成されるような仕組みを作るべきだと思う。具体的には、早期発見に意味のあるがん種について、第4次計画の中で進められたら良い。

(2) 大阪府がん患者等妊よう性温存治療費等助成事業について

【意見要旨】

○19歳以下の助成件数が少ないことについて、現場では中・高校生へも案内はしているが、卵が育たず採卵には至っていない印象。

○全国の自治体で個々の症例に対する対応の差異があることが問題視されており、日本がん生殖医療学会がアドバイザリーボードの実装を検討しているとのこと。

○サバイバーが今後再発に備え、自身の妊よう性機能を温存する社会的妊よう性温存についても、今後議論の対象になる可能性がある。

(3) その他

【意見要旨】

○アピランスケアの普及啓発について

- ・費用助成の情報提供もあわせてお願いしたい。